

「第3回 AI 手話翻訳ワークショップ」を開催しました。

2025年7月25日（金）に、当協議会の会員である（株）プロディライト様にて、「第3回 AI 手話翻訳ワークショップ（以下WS）」を開催しました。同ワークショップには、対面で31名、オンラインで16名の合計47名の参加があり、情報保障としては、（株）ミライロ様より手話通訳士2名を派遣頂きました。同WSの第1部では、（株）プロディライト様より「バリアフリーなコミュニケーションに向けて」、アイホン（株）様より「インターホンにおけるコミュニケーション・バリアフリーへの取り組み」、電気通信大学様より「コミュニケーション・バリアフリー事業の概要について」および東京大学様より「日本手話における文末指さしの基本パターンについて」をご講演頂きました。

また、第2部では、（株）リコー様より「聞こえない人にもスポーツの臨場感を～実況可視化が生む共生の形～」、パナソニック（株）様より「透明有機 EL ディスプレイ（OLED）のご紹介」、大阪公立大学様より「局所領域と骨格情報に基づく AI 技術を用いた手話単語の認識精度向上」、東京大学様より「東京大学における授業「AI 手話翻訳プロジェクト」のご紹介」、およびソフトバンク（株）様より「SureTalk 新機能のご紹介」に関するご講演やデモを実施して頂きました。

対面およびオンラインの参加者からは、「文字起こし機能付きのインターホンの開発企画」や「Pekoe の利用実績」、さらに「自治体における ICT 技術への取り組み状況」など、AI を利用した手話翻訳に加えて、きこえない人やきこえにくい人を支援する ICT 機器の選択肢の多様化に関する多くの要望や意見を頂きました。



会場の様子（１）



会場の様子（２）

当協議会では、今後もワークショップやシンポジウムなどの開催を通じて、きこえない人ときこえる人の双方が円滑なコミュニケーションが出来る社会基盤の構築を推進するとともに、協議会の活動に賛同頂ける会員の募集に努めます。

以上